皆さんとともに歩み続けて

# 広報いまかね

おかげさまで
600号
を迎えました

広報いまかねは昭和27年の創刊以来、57年の歳月を経て、第６００号に到達いたしました。これを記念し、過去の節目に発行された広報紙を紹介いたします。これまでの歩みを振り返ることを機に皆さんに更なるご愛顧をいただけるよう努力して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

**広報いまかね創刊600号を記念し、このページで紹介した広報紙を町ホームページで閲覧することができます。スキャナーで取り込んでおりますので見づらい部分があるかと思いますがご了承ください。**



## 第１号創刊
### 昭和27年１月16日発行

今金町広報紙の創刊にあたり、民主主義の確立と住民の知る権利、また、逆に地方自治体が住民に施策の内容を知らせる義務と責任など地方自治体の広報活動の主旨を伝えた上で「町の施策を住民に正しく知らせることにより、より一層の認識を深め、更に進んで協力を得るよう努めたい。」と当時の町長齋藤房由氏が創刊の辞を述べました。



## 第51号
### 昭和34年１月発行

創刊より「いまかね町政だより」として発行し、町民の皆さんに親しまれてきましたが、51号より「広報いまかね」と改称されました。因みにこの600号は「広報いまかね」として発行されてちょうど50年目となります。



## 第100号
### 昭和41年12月発行

広報発行100号を迎えて安部町長(当時)からのあいさつが掲載されています。また、現在の役場庁舎落成を記念した落成式の様子や、国営左岸直轄かんがい事業着工を紹介しているなど、大事業が続く年でもありました。



## 第200号
### 昭和50年２月発行

町民の声を広く町政に反映して、明るく住みよい町づくりをということをコンセプトとした町政懇談会の報告や５月に開園を控えた豊寿園の紹介が掲載されています。表紙は雪上運動会の様子。



## 第300号
### 昭和58年12月発行

秋の叙勲や北海道社会貢献賞などの表彰者の紹介や総合文化祭の報告。また、地名の由来シリーズの第３弾として、今金、御影、八束、白石、金原・鈴金、豊田、神丘の由来が紹介されています。



## 第400号
### 平成４年５月発行

３年目を迎えた美利河小学校の山村留学生の紹介や第２回ペガサスの翼帰町報告会の記事が掲載されています。また、フレッシュさん、みんなの広場、わが家のアイドルなど、町民を紹介する企画が多数掲載されています。



## 第500号
### 平成12年９月発行

記憶に新しいこの第500号では、町が保有している情報を自由に知っていただくための「情報公開条例」施行の記事や各所で行われた夏まつりの様子などが掲載されています。また、慶應大学の学生が滞在し、健康相談や眼科・耳鼻咽喉科検診などが無料で行われました。表紙は成人祭での記念撮影。